

きたばた よしと
北端 祥人

「神は細部に宿る」



profile

守口市立南小学校出身。幼少期より大東楽器ヤマハ守口センター、および京橋センター(現ユニスタイル京橋)へ通う。

2016年、第6回仙台国際音楽コンクール第3位のほか、国内外において数多くの賞を受賞している。2018年、第9回リスト国際ピアノコンクール(ドイツ・ワイマル/パイロイト)においては、ドビュッシー作品の最も優れた解釈に対する特別賞を受賞した。

京都市立芸術大学、同大学院を首席で修了後渡独し、ベルリン芸術大学修士課程ソリスト科、および同大学室内楽科を修了。これまでにソリストとして仙台フィル、東京フィル等と共演、室内楽奏者としても多彩な活動を展開している。西本幸弘氏(仙台フィルハーモニー管弦楽団・九州交響楽団 コンサートマスター)と共演したCD「VIOLINable vol. 5」「同 vol. 6」「同 vol. 7」がFONTECより、トリオ・ヴェントゥス「シューベルト&ショスタコーヴィチ」が日本アコースティックレコーズよりリリースされている。これまでに佐々木弘美、大川恵未、椋木裕子、上野真、マルクス・グローの各氏に師事。東京音楽大学、東京藝術大学附属音楽高等学校の非常勤講師として、後進の指導にあっている。

12月18日(日) 2回公演
①13:30 開場 14:00 開演
②16:30 開場 17:00 開演

12月18日(日)の議場コンサートに出演される守口市出身のピアノリストである北端祥人さんへインタビューを行いました。

いま、自分が
できることを
精一杯する

ピアノを始めたきっかけは何ですか？

「最初は習い事としてピアノを始めました。母親が電子オルガンが好きで弾いていたので、小さい頃から3兄弟みんなピアノを弾いていましたね。また、未就学児の頃から音感教育を受けていたおかげで、小学生の頃には絶対音感があることを自覚しました。一度小学校6年生でピアノから遠ざかりましたが中学校の時に再びピアノを弾きはじめました。当時は「バンブーオブチキン」というロックバンドが好きで、ギターを買って弾いたりもしていましたので、もともとしていたテニスの部活を辞めて吹奏楽部に入りました。その時にクラリネットを演奏し音楽が好きであると再認識しました。そこから自然とピアノを弾くようになりましたね」

小さい時にコンクールに出ましたか？

「小学生の時にコンクールは出ていました。その時は目的意識もなかったただ参加していた感じですね。キャリアとしてのコンクールは大学生になってからです」

1日どのくらい練習するのですか？

「多い時で5〜6時間練習しています。大学生へのレッスンもあったりするので平均して2〜3時間ですかね。最高記録は高校3年生の受験前の時に1日10時間くらい練習したことがあります」

クラシック以外は聞いたりしますか？

「JAZZも聞いたりします。たまにピアノで弾いたりもしてみます。クラシック以外のジャンルを演奏する機会もたまにあります」

好きな作曲家は誰ですか？

「誰が好きかっていうと、ありすぎて絞れないですね。時代でいうと、20世紀前半の音楽が好きです。その時代は音楽も文学も絵画もいろいろなジャンルが混在した多様性のあるカオスな時代だったので好きですね」

緊張はするんですか？

「します。緊張は受け入れるしかないですね。経験を重ねて思うのは背伸びしないこと。その状態を受け入れることです。自然体で臨むことが理想です」

うまくいかなかったことはありますか？

「大学に入ると、周りはいまの人ばかりで、高校の時のように伸び盛りではなかったのが焦りが生まれました。」

乗る越えるきっかけは、ドイツへの留学と、京都市立芸術大学大学院での師匠との出会いです。師匠とは2年という短い期間でしたが、考え方や心構えを根本から学ばせて頂きました」

大事にしている言葉はありますか？

「神は細部に宿る」という言葉を大事にしています。

ピアノは華やかな部分が注目されがちですが、地味なところや目立たないところが難しかったりするので、そういうところにこだわることがすごく大切なんだと意識しています」

良いピアノとは何ですか？

「新しいピアノが素晴らしいというわけでもなく、古いピアノが劣っているというわけでもありません。どんなピアノでも、そのなかでできることを探します。フレッシュな部分や青い部分があるピアノでも、どこかに必ず良さはあるので、良さを探すようにしています」

コンサートに来る人へメッセージをお願いします。

「今回は音楽の世界に入ってきたやすい曲を選びました。12月ということで季節感も意識しました。雰囲気を感じ取っていただければと思います。曲の背景なども話そうと考えているので楽しみにしていてください」

今後の目標はありますか？

「とにかく健康にピアノを弾き続けたいですね。ピアノには引退とかはあまりないので故障には気を付けていきたいです。また、市を絡めて地元に貢献できるのほとてもうれしく思います。ようやく守口市に恩返しができるなど。また、小学校で演奏したり、こちらから歩み寄っていくこともしていきたいです。守口市で音楽祭もできたら素敵ですね」



8歳の北端さん



エナジーホール(守口文化センター)にて